

若者が夢を持てる農業とは！ 第一部：4 組の青年農業者が発表

第二部、龍谷大学生及び農業大学生、参加者を交えてパネルディスカッション

．．．．．<第一部>若き農業者から実践報告．．．．．

- 西山和人氏（農業法人㈱丹波西山代表取締役）
26歳で5代目コメ農家となり、京都奥座敷の里山で有機栽培コシヒカリや山田錦、祝、日本晴などの酒造好適米の栽培、有機野菜にも挑戦する農業法人を営んでいる。全国最年少で『水稲による有機 JAS 認定』を取得。
- 湯ノ口絢也氏（グリーンファーム湯ノ口代表。滋賀県東近江市）
多種類のお米・野菜・大豆・加工品・水稻苗を安心・安全にこだわり家族と従業員で大規模に農業経営。ジュニア野菜ソムリエの資格を取得し、販売だけでなく野菜の食べ方・作り方・魅力・感動も同時に発信。
- 岡崇嗣氏（(株)WABISUKE代表取締役）
龍谷大学卒業後、養鶏に興味を持ち養鶏大国のメキシコにも留学。日本の主流である「ケージ飼い」に疑問を持ち、自ら「平飼い」を求め美山町で研修。必死に勉強し秋には宇治農場をオープン予定。
- 松宮靖・とも恵氏（京丹後久美浜町）
若い夫婦で、農業によるこび、楽しみを見つけ出しながら丹後の久美浜で特別栽培レベルの胡瓜、トウモロコシ、枝付き黒豆等を栽培。二人で「地域を守りたい」と難しい問題に挑戦。生産者 20 名の若者グループで消費者に求められる農産物の研究、海外への農産物の輸出の取り組み。

．．．．．<第二部>学びの立場から 報告・発言&パネルディスカッション．．．．．

- 龍谷大学農学部学生グループ
JA おうみ富士と連携した地元産物の直売所「おうみんち」の多様な活動に参加し農業の将来を考える活動をおこなっている。
- 山岡崇氏（大阪府立農業水産研究所 大阪府立農業大学校）
早稲田大学を卒業後大手企業に勤務。農業、農業の重要性を考えるようになり退職。一から農業を学ぼうと大阪府立農業大学校に入学。実践的な農業を勉強しながら日本の将来の農業について研究。

2017年

9月 17日 (日曜日) 13:30~16:30

会場 龍谷大学深草学舎（京都市伏見区深草塚本町 67）和顔館 B101 教室

<交通：JR 奈良線「稻荷」駅下車、南西へ徒歩約 8 分；京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約 3 分；京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車東へ、徒歩 10 分>

参加費 一般 1000 円 学生 500 円 **定員** 80 名

※終了後 夕食懇親会(参加自由)実費 申し込み(裏面)

NPO 法人日本都市農村交流ネットワーク協会 行

FAX番号：075-344-0465 京都市市民活動総合センター
メールボックス No.91

「六次産業化」を考えるシンポジウム<コラボ企画>

(第10回『農』の六次産業化シンポジウム/農楽マッチ勉強会セミナー)

参加申込書

【申込締切：9月13日(水曜日)】※定員に達し次第、締め切ります。

【申込方法】どちらかのNPOに、それぞれの方法にそって、①氏名・②住所・③電話番号・④懇親会の出欠、を9月13日(水曜日)までにご連絡ください。

一般の方 / NPO 法人 日本都市農村交流ネットワーク協会の関係者

FAXまたはE-mailでお願いします。電話での受付はいたしません。

- FAXの場合 → 075-344-0465 に本参加申込書を送信
- E-mailの場合 → jimukyoku@gtnet.sakura.ne.jp

問い合わせは、上記メールアドレスまたは090-7115-2695(尾松)まで

NPO 法人 農楽マッチ勉強会の関係者

次のメールアドレス宛てにE-mailでお願いします(代表：山本文則)。

yamamoto@noramatch.com または yamamoto.huminori@gmail.com

問い合わせは、上記メールアドレスまたは090-3443-9588(山本文則)まで。

「六次産業化」を考えるシンポジウム<コラボ企画>(9月17日開催、於：龍谷大学深草学舎)に以下のとおり申し込みます。

| 氏名 (学生は頭に○記入) | 住所/TEL | 懇親会参加(○、×) |
|---------------|--------|------------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |



深草学舎 キャンパス 案内
和顔館 B101 教室
東門を入った正面
京阪電車深草駅 徒歩3分